

わたしの経験やチャレンジが、
誰かの原動力になる!
「みんなの経験共有会」

4月のテーマ 法人設立をしてみた! 「NPO法人・一般社団法人設立経験共有会」

4/22(金) 10:00~11:30 @和光大学ポプリホール鶴川 3階多目的室

一人ひとりの経験は、共有することでみんなの知恵になります。経験と知恵を言葉にするとそれは市民の知になり、「やってみよう!」と思っている人の原動力になります。4月から一人ひとりの経験や挑戦を市民の知にしていく場「みんなの経験共有会」を月1回、多彩なゲストをお招きして開催します。第1回は、NPO法人や一般社団法人を立ち上げた方々をお招きし、法人格の取得に至った背景や設立までの道のりをお話しいたします。

- こんな方におすすめです
- ✓ 地域活動を始めようと思っている方、関心がある方
 - ✓ 地域活動をしており法人格を取得しようか迷っている方
 - ✓ 地域活動に携わっている方と交流を深めたい方



詳細・予約は
こちらから

Message | ごあいさつ

2022年度もサポートオフィスを
よろしくお願いたします!

町田市地域活動サポートオフィスは、もうすぐ開所4年目を迎えます。地域活動団体の皆さんとの繋がりを更に深め、町田のまちづくりを推進していきたいと思ひます。



〈喜田亮子〉
他団体と何かをする機会を多く頂いた1年でした。同時に、その醍醐味を広げることができた1年だったと思います。4年目もfor~(~のために)よりもwith~(~とともに)で進めて行ければ幸いです。

〈大谷光雄〉
1年目はオフィスの存在周知と団体との出会い、2年目はコロナ下での団体の活動方法を探り出し、3年目はコロナを前提に団体活動支援。4年目はより多くの団体支援を目指します。

〈杉山久美子〉
「今度うちの団体で〇〇をやってみないかな」とお話しされる団体の皆さんのキラキラとした顔を来年度もたくさん拝見できるよう、対話や雑談(!)を重ねていきたいと思ひます。

〈杉山亜紀〉
「まちカフェ!」実行委員会は、皆さんのスキルアップに驚き嬉しく、励みになりました。素晴らしい想いを持つ方々が集まって創る「まちカフェ!」、来年度も進化させていきたいと思ひます。

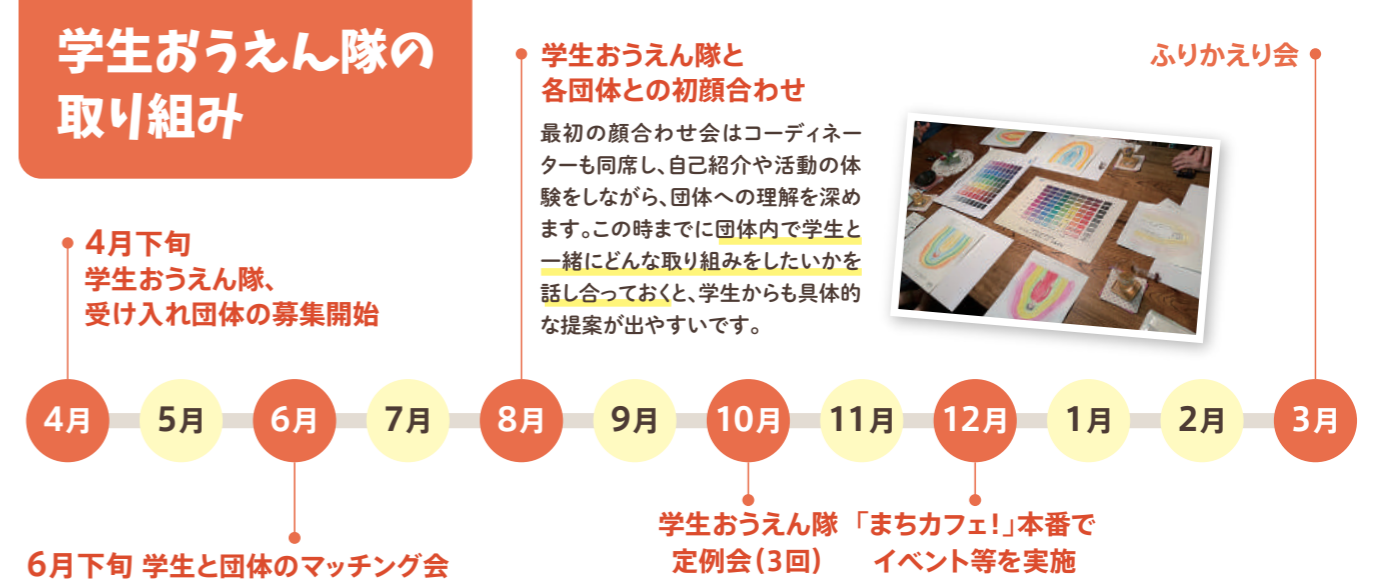
〈橋本空〉
今年度はリアルでもオンラインでも皆さんと一緒に、元気を頂きました。「まちカフェ!」も山岡先生・高井さんとの対談も良い思い出です。来年度もチャレンジの年にしたいです。

今月のコンテンツ 学生の意見や学生が得意とするスキルを取り入れて、団体活動の活性化につなげる動きが町田でも少しずつ広がっています。今号では、その取り組みの一つである「まちカフェ!」学生おうえん隊の活動事例をご紹介します。自団体に学生をはじめとした多世代の力を取り入れる際の参考になさってください。

Report | 「まちカフェ!」発プロジェクトに学ぶ
学生の力を地域活動団体に活かすポイント

「まちカフェ!」学生おうえん隊とは、町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」(以下「まちカフェ!」)で2年前に立ち上がったプロジェクトです。事務局であるサポートオフィスのスタッフやコーディネーター(※)が、「まちカフェ!」参加団体と学生のマッチングやサポートをしながら、学生と団体が「まちカフェ!」本番に向けて力を合わせて活動を進めていきます。今年度は6大学から20名の学生が参加し、8団体が受け入れました。受け入れ団体の皆さんからは「フレッシュな考え方や知識に刺激を受け、新しいチャレンジができた」等の感想が多数寄せられました。ここからは、学生おうえん隊の取り組みの紹介を通して、学生の視点を団体活動に生かすポイントをお届けします。

※学生おうえん隊の取り組みでは、より有意義な活動になるように学生と団体との橋渡しをするコーディネーターを地域活動団体へリポーと(https://peraichi.com/landing_pages/view/heliport/)にお願いしました。



サポートオフィス橋本より

学生×地域活動団体 「世代の差はチャンス大きさ!」
世代を超えて取り組む本プロジェクトの良さは、団体・学生の双方にとってチャレンジの機会が生まれることです。世代間のギャップにお互い戸惑う場面もありますが、そのギャップは悪いものではなく、それだけ活動の幅が広がるチャンスが溢れているということだと感じています。

次ページでは、今年度学生おうえん隊を受け入れた団体の事例と共に、若い世代の意見を取り入れながら **団体活動を活性化していく** をご紹介いたします。

Report |

第15回町田市市民協働フェスティバル

「まちカフェ!」学生おうえん隊の事例から 探る 学生の受け入れ成果と成功のコツ

今年度学生おうえん隊を受け入れた団体は、「まちカフェ!」で実施するイベントの企画や動画作成、SNSアカウントの開設、ニュースレターの作成等に挑戦しました。学生を受け入れて成果を出した多くの団体は「小さなことでもまずは学生と一緒にチャレンジしてみることが大切」と言います。失敗も含め一緒に考えチャレンジをする中で、団体に新しい発見が生まれてきた3つの取り組み事例と学生との活動を円滑に進めるコツをご紹介します。

学生おうえん隊 受け入れの成果

目的や想いを共有することが、成果につながるんだね!



事例 1

新規会員獲得のための オンライン説明会に挑戦

団体から若い世代の会員入会に課題を持っていることを学生に伝えたところ、クイズ形式の説明会を通して楽しみながら団体を知っていただく企画を提案。「まちカフェ!」期間中に行ったこの説明会をきっかけに、3名の方が新たに入会されました。オンラインイベントには初挑戦でしたが、学生と丁寧に準備を重ねたことで説明会を成功させることができました。



▲説明会で実施したクイズの様子。参加者が指で1・2・3とそれぞれの回答を表しています。

受入団体 NPO法人町田演劇鑑賞会
<http://www.machida-enkan.jp/>



事例 2

団体の認知度や取り組みを 発信するイベントに挑戦

牛乳パックを使用したキャンドルホルダーを作成し、施設を利用してほしいママ層にPRするためInstagramでのライブ配信に学生からの企画提案で挑戦。団体のプログラムとしても普段から実施しやすい工作と学生世代が得意なSNSを組み合わせ、コロナ下でもお家で楽しめる素敵な企画が実現。団体内にはイベントの企画と実行や、Instagramを活用した情報発信等のノウハウが浸透しました。



▲配信終了後の様子。「来年は施設の外にも飾りたいね」と企画談義が続きました。

受入団体 生活クラブ子育て広場ぶらんこ町田
<https://www.instagram.com/branco.machida/>



事例 3

NPOや地域活動の魅力を 若い世代に伝えることができた

活動紹介動画を学生と共に作り、広報力が高まりました。サポートオフィス橋本がゲスト講師を務めた専門学校の授業に、学生おうえん隊の学生と団体の担当者が登壇し、共に進めた活動を発表。受講生から「地域にも学生が参加できる場があることを知れた」「NPOのイメージが変わった」等の感想をいただきました。若い世代に団体の経験や想いを伝えられ、地域活動を知ってもらえる機会も作れた得難い経験でした。



▲オンラインで授業に参加した時の様子。学生が作成した団体紹介動画も授業でお披露目しました。

受入団体 NPO法人町田すまいの会
<http://sumainokai.jp/>



学生と有意義に 活動を進めるコツ

学生と悩みながらも楽しく活動を進めていくコツを、受け入れ前～受け入れ後のプロセスごとに学生の声やコーディネーターのそれぞれの視点から紹介します。

受け入れ前のコツ

学生に関わってもらいたいことを
団体内で話し合い、
活動内容を学生に伝える準備を!



学生より

活動の内容を聞くことで今後のイメージができ、安心しました。日常的な活動(資料整理や章刈りなど)を早い段階で経験できたのも団体を深く知る良いきっかけになりました。



コーディネーターより

学生はNPOや地域団体と関わるのは初めてのことが多いです。団体の活動内容に限らず、団体が大切にしていることや想い、目標などを丁寧に伝えると良いでしょう。

受け入れ時のコツ

互いの距離を縮めるために、
団体の普段の活動を
一緒に体験できる機会を作ろう!



学生より

活動の体験中に団体の方とお話すると、活動の意義が具体的に分かりました。また、皆さんそれぞれのお人柄もよく理解できました。



コーディネーターより

お互いがお見合い状態になり活動が停滞してしまうときは、学生さんと一緒に手を動かす作業をすることをおすすめします。ランチやおやつの時間を共にするなどいいですね!

受け入れ中のコツ

コミュニケーションに困ったら
コーディネーターを
うまく活用しよう!



団体より

コーディネーターが橋渡しをしてもらうことで、学生さんの状況を理解するきっかけになりました。ちょっとしたことを気軽に相談できる相手があると助かります。



コーディネーターより

みんなで一緒に考えれば文殊の知恵。どんなことでも気になることは相談してください!学生さんの小さな変化は、大きく成長する瞬間なので、温かく見守ってください。

受け入れ後のコツ

感謝や想いを
しっかり自分の言葉で
伝えよう!



学生より

「失敗しても間違えても大丈夫!何でもチャレンジしよう!」と団体の方がおっしゃってくださったので、自信を持って自分の意見を発信できるようになりました。



コーディネーターより

団体の皆さんからのポジティブな言葉は私たちからも学生へ伝えることができますが、ぜひ団体の皆さんの言葉で想いを伝えてみてください。学生の大きな達成感につながります。

まとめ

今回ご紹介したポイントやコツは、若者を受け入れるときだけに限らず、自団体とは異なる世代や背景を持っている方と一緒に活動するときにヒントにいただけるのではないかと思います。来年度も学生おうえん隊の取り組みの実施を予定しており、詳細は5月頃にサポートオフィスのホームページでご案内します。どうぞご期待ください!

3/10に実施した〈学生おうえん隊ふりがえり会〉の様子はこちらでレポートしています!▶

CHECK!

